

連携

Renkei

2014.November



vol.33

平成26年11月発行



国家公務員共済組合連合会

東北公済病院

公益財団法人 日本医療機能評価機構認定第JC61-3号

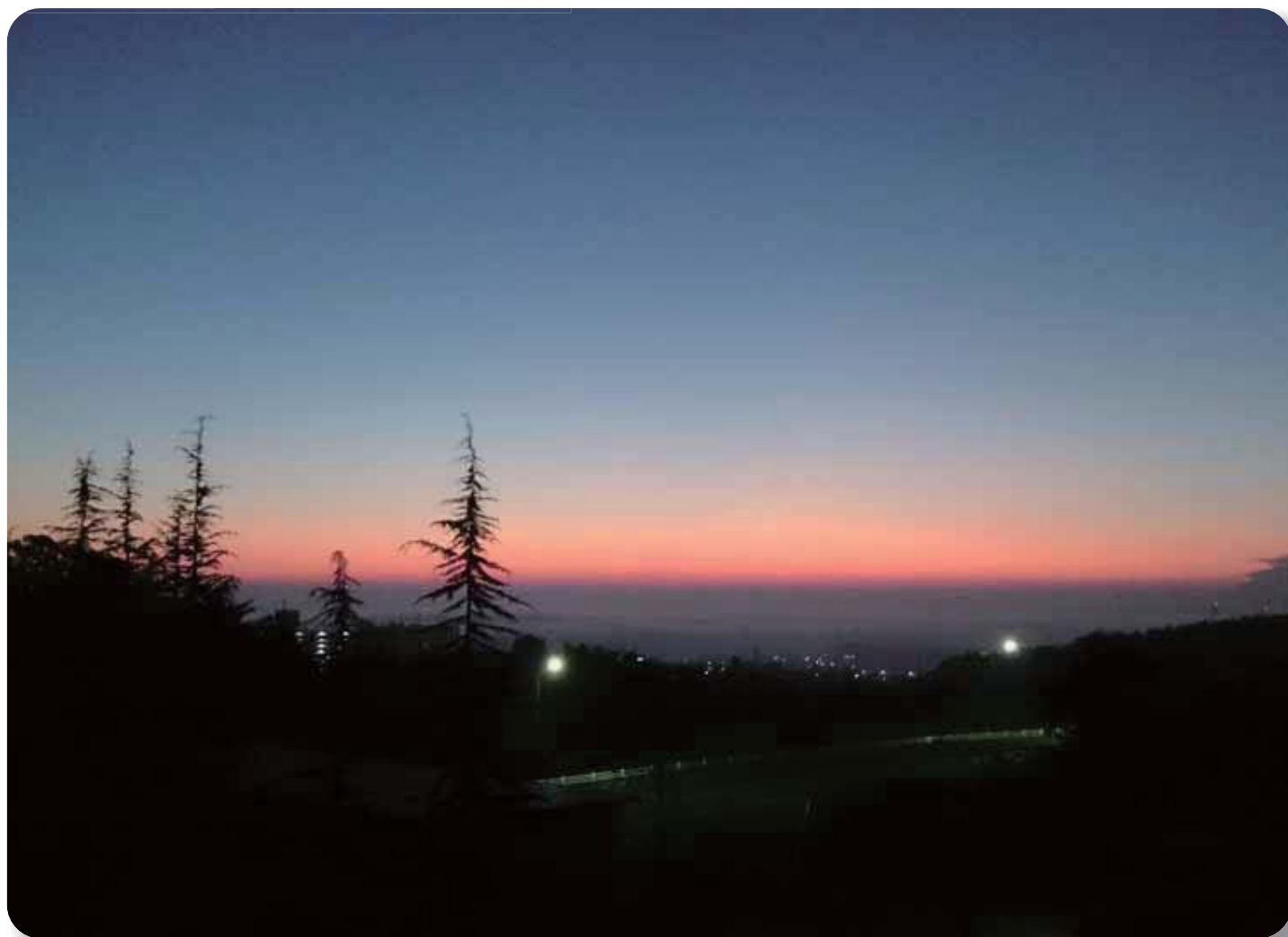
東北公済病院

〒980-0803 仙台市青葉区国分町2丁目3-11
TEL 022-227-2211 (代表) FAX 022-263-8069

東北公済病院宮城野分院

〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台4丁目16-1
TEL 022-293-7711 (代表) FAX 022-295-9189

<http://www.tohokukosai.com/>



「夜明け」 撮影：東北公済病院 婦人科部長 田野口 孝二

連絡先／**東北公済病院 地域医療連携センター**

TEL 022-227-2353(直通) FAX 022-264-4181(直通)

受付時間／月～金 8時30分～17時15分まで(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

新しい東北公済病院に向かって

～Ⅱ号館新築の安全祈願祭～

東北公済病院 雲然 正之
院長特任補佐 くもしかり まさゆき

暦の上ではもう立冬。初霜の便りも聞かれる季節となりましたが、東北公済病院連携医の先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、東北地方太平洋沖地震、いわゆる東日本大震災から3年半の平成26年9月9日に東北公済病院は新たなスタートを切りました。

震災発生から半年後の平成23年9月に、外部有識者の方々にも加わっていただき、甚大な被害を受けた宮城野分院も含め東北公済病院の今後のあり方を検討する委員会を発足。これが新しい東北公済病院となるための第一歩でした。それは、本院の5階建ての管理棟を取壊し、8階建ての新棟を建設して分院の機能を移転するというものでした。

こうした決定を受け、本年4月下旬に解体工事に着手し、8月末には37年間使用してきた管理棟が地上から姿を消しました。そして、東北公済病院Ⅱ号館として生まれ変わるべく、平成26年9月9日に「東北公済病院Ⅱ号館」新築の安全祈願祭を執り行い、いよいよ新しい東北公済病院に向けてスタートしました。

当日は、ご多忙中にもかかわらず、あり方検討委員会の委員の方々、大学関係者、町内会の方々に加え連合会本部から尾原理事長をはじめ関係役員、病院関係者、設計会社・施工会社など、総勢約60名が出席し、尾原理事長と岡村病院長による鍬入れ・玉串奉納などにより、平成28年3月の完成を目指して工事の安全を祈願しました。

Ⅱ号館は、地下1階、地上8階建てで、1階にリハビリテーションセンター、4階に回復期リハ病棟、6階に人工腎臓透析センターなどを配置するほか、シンボリック施設であった渡り廊下も、従来の倍の広さで再設置することとしております。

尾原理事長から「現在の宮城野分院の診療機能を統合することにより、これまで以上に質の高い医療の提供をして参りたい」と挨拶があったように、東北公済病院としては、現在、約900の開業の先生に連携医となっていていただいておりますが、これまでも、これからも先生方と患者様に信頼され、平成28年4月からは新しい東北公済病院としてより質の高い医療を提供できるものと確信しておりますので、よろしくお祈り申し上げます。



第1回 東北公済病院在宅療養後方支援病院講演会 「地域と取り組む緩和ケア～がんになっても安心して暮らせる町を目指して～」

●講師／岩手県中部病院 星野 彰先生 ●平成26年9月24日 江陽グランドホテル

当院では地域に根差した病院として、在宅医療を行う先生方とともに患者さんの在宅療養をささえ、地域包括ケアの第一歩とするために、在宅療養後方支援病院の取得に向け取り組んでおります。

9月24日には、岩手県で地域の先生方とともに、がんの患者さんの在宅療養を支える方法を構築した星野 彰先生にご講習いただきました。

当日は、在宅支援診療所や訪問診療を行われている先生方を中心に41名の方々にお集まりいただきました。ご参加いただいた先生方、ありがとうございます。

在宅療養後方支援病院（A206在宅患者緊急入院診療加算）に、在宅往診や訪問診療を行っている患者さんを事前に登録をしていただくことによりスムーズな入院受け入れや逆紹介が可能となると考えております。

ご登録をお考えの患者さんがおいでの際は、地域医療連携センターで受け賜ります。まずは、お問い合わせください。



第1回 東北公済病院看護連携のつどい

9月5日、ホテル白萩にて、第1回東北公済病院看護連携のつどいが開催されました。2025年に向け、地域包括ケアシステムの構築が提言され、医師の連携のみならず、看護の連携の重要性が言われています。そこで、看護部では地域の看護師と顔の見える関係を作り、一緒に問題を共有しより良い看護を考えていくことを目的に、看護連携のつどいを企画しました。

初めての試みでありましたが、市内の病院、開業医、訪問看護ステーション、施設等の看護師43名の参加があり、非常に実りのある会となりました。

熊谷看護部長の開会の挨拶の後、看護部の紹介、当院の9名の専門・認定看護師の役割や活動内容を紹介しました。困難事例の相談、パンフレット作成のアドバイス等、専門・認定看護師を積極的に活用していただき、地域看護の質の向上へとつなげていきたいとの説明がありました。

パネルディスカッションでは、「自由に看護連携を語りましょう」をテーマに、病院、在宅、診療所の看護師が発表を行いました。病院の立場からは、佐藤退院調整看護師より医療依存度の高い患者の退院が増え、訪問看護師との連携の重要性が増している事、診療所等の看護師との連携はほとんどないとの報告がありました。KKR公済訪問看護ステーションの古積看護師長からは、病院と在宅のパイプ役を担うのは訪問看護師であり、今後は地域の診療所の看護師と情報共有し連携を図っていくことが大切であるとの発表がありました。診療所の立場から、泉中央乳腺クリニックの加藤看護師より、患者さんは病院と診療所の間を行き来するが、看護の連携はないため、退院指導の内容がわからず継続した指導ができていない等の報告がありました。ディスカッションでは、他施設の看護師との連携の実際から、今後の情報提供の在り方を検討していく必要性も示唆され、課題も浮き彫りになりました。

第2部では、10グループに分かれ会食を囲みながら、それぞれの立場での意見交換を行いました。

これまで、声だけ知っていても顔を合わす場面がなかった同志があいさつを交わし、テーブルを行き来し、大変有意義な時間となりました。

今回は、11月26日に感染認定看護師による、インフルエンザ、ノロウイルスの感染対策の実際について講義を行い、その後に意見交換会を開催したいと考えております。詳細は追ってご案内いたします。診療所をはじめ各施設の看護師の多くの参加をお待ちしております。



新任医師紹介

- ①氏名 ②職種 ③出身地 ④出身校 ⑤趣味 ⑥ご挨拶並びに抱負

ワタナベ コウジロウ



- ①渡邊 幸二郎
(平成9年卒)
②耳鼻いんこう科医長
③北海道
④東北大学
⑤ゴルフ

⑥医師になり、18年目となりましたが初心を忘れずに頑張ります。

イシイ チアキ



- ①石井 千晶
(平成23年卒)
②麻酔科医師
③山形県
④山形大学
⑤ドラマ観賞、酒

⑥今年から仙台に来ました。わからない所がたくさんありますが、がんばりますのでよろしくおねがいします。

移動販売をはじめました

病院売店で病棟への移動販売をはじめました。



新聞に掲載されました

乳がん検診 笑顔結ぶ

患者の増加に伴い、死亡者数も増え、2010年を境に一方から入りがなくなった。厚生労働省人口動態統計によると、乳がんの死亡者は大腸がんを抜いて、比べて早く、早期発見すれば治療率が高い。ただし、壮年期の女性から年代別前半では死亡原因の1位に上っている。若い年代から病変に関心をもち、日本乳癌（がん）学会の2011年の調査結果では、登録施設約4万6000人のうち、検診の履歴があるだけで、リンパ管などへの転移がない早期がんは約3.6%、このうちがん検診が原因で発見する非検診がん（〇患）は10.8%だった。乳がん手術件数は東北

早期発見 高い治療率

乳がんは年々、増加傾向にあり、女性がかかるがんの中で最も多い。患者は約10代後半から急激に増え、40代に多い。最近では閉経後の60代前半でも増えている。国立がん研究センターは2014年、2015年に新たに乳がんと診断される人が5万5700人になると予測を公表した。

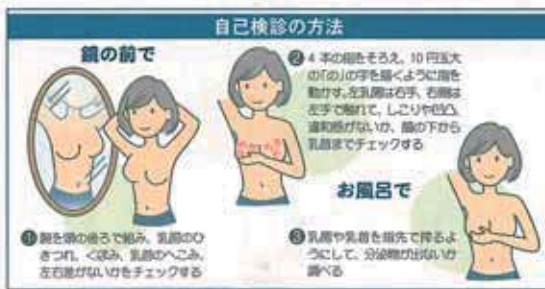
自覚症状ないケースも

多い。東北公済病院（仙台市）の乳がん外来は、乳癌の早期発見を促すため、〇〇の検診は、転移、再発の可能性は低く、抗がん剤やホルモン療法も必要なく済む（〇〇をい）と説明する。平川医師は「乳癌再発の大きさと検診状況は、無罪を逃れ、全摘手術後、再発を希望する人が増えている」と話す。13年の国立がん研究センターの調査では、過去1年間の乳がん検診受診率（40～69歳）は34.2%と年々、向上している。東北は青森県を除いて全国平均より受診率が高い。平川医師は「この市町村でももっと検診を受診できる環境を整えていこう」と話している。乳がん検診の重要性を高めるため、検診の推進により、乳がんを減らすことが今後の課題と指摘する。



東北公済病院 平川 久医師

多くの乳がん患者の半数以上は、自分で乳房の異変を見つけている。マンモグラフィー（乳房エックス線撮影装置）や超音波検査などの定期受診に加え、月1回の自己検診を習慣にしよう。乳がん知識の普及を目指す認定NPO法人乳房健康研究会（東京）が昨年、創設した認定資格「ピンクリボンアドバイザー」で「せんだい総合健診クリニック」（仙台市）の看護師井上美枝さんに、自己検診法を聞いた＝イラスト参照＝。チェックは、乳房の張り感がゆるい生理の終わりごろか、閉経した人は毎月決まった日に行う。鏡を見ながら、続いて入浴時にせっけんを役立てて行うとよい。井上さんは「自分の体は自分で守るという意識付けが大切。できれば年1回は乳がん検診を受けてほしい」と話している。



月1回 自己チェックを

乳がん患者の半数以上は、自分で乳房の異変を見つけている。マンモグラフィー（乳房エックス線撮影装置）や超音波検査などの定期受診に加え、月1回の自己検診を習慣にしよう。乳がん知識の普及を目指す認定NPO法人乳房健康研究会（東京）が昨年、創設した認定資格「ピンクリボンアドバイザー」で「せんだい総合健診クリニック」（仙台市）の看護師井上美枝さんに、自己検診法を聞いた＝イラスト参照＝。チェックは、乳房の張り感がゆるい生理の終わりごろか、閉経した人は毎月決まった日に行う。鏡を見ながら、続いて入浴時にせっけんを役立てて行うとよい。井上さんは「自分の体は自分で守るという意識付けが大切。できれば年1回は乳がん検診を受けてほしい」と話している。

河北新報平成二十六年九月二十五日朝刊

学会発表

年月日	学会名	演題	場所	発表者
2014/4/11	第111回日本内科学会講演会	アジルサルタンの長期投与の有効性とアルドステロンブレイクスルーに関する検討	東京	山岸俊夫
2014/4/25	第87回日本内分泌学会学術総会	肥満を有する2型糖尿病患者へのDDP4阻害薬とビッグアナイド薬の併用に関する検討	福岡	山岸俊夫
2014/4/25	第87回日本内分泌学会学術総会	2型糖尿病患者におけるインスリン治療へのビルダグリプチンの併用効果について	福岡	山岸俊夫
2014/5/9	第87回日本超音波学会医学部	高脂血症における頸動脈弾性特性およびbaPWVに対するイコササント酸エチル製剤的作用について	横浜	山岸俊夫
2014/6/13	Joint meeting of ESH and ISH (欧州高血圧学会、世界高血圧学会)	Effects of azilsartan on blood pressure, baPWV and renin-angiotensin-aldosterone system in essential hypertensive patients	初演、77分	山岸俊夫
2014/7/9	第22回日本乳癌学会学術総会	当院での色素法単独によるセンチネルリンパ節生検、特に近傍の非染色リンパ節の転移状況に関する検討	大阪	平川 久
2014/7/10	第46回日本動脈硬化学会	2型糖尿病患者におけるアナグリプチンの有用性と抗動脈硬化作用に関する検討	福岡	山岸俊夫
2014/7/17	第69回日本消化器外科学会総会	直腸癌に対し術前化学療法施行後の根治術後に発症したdenovoB型肝炎の1例	福島	和田直文
2014/9/28	第62回日本心臓病学会学術集会	DDP-4阻害薬アナグリプチンの動脈硬化に対する効果の検討	仙台	山岸俊夫

お知らせ

○千葉博暁薬剤師が薬事新報の感染制御専門薬剤師シリーズに「感染制御専門薬剤師の院内における活動」として掲載されました。

薬事新報No.2850 (H26.8.14号)→

○接遇研修会をフリーアナウンサー黒田弘子先生を講師に招き10月7日に開催しました。

○10月26日、泉パークタウンGCにて連携の会ゴルフコンペが行われました。

○第21回国分町整形外科医学会学術講演会を11月26日に開催いたします。



編集発行

東北公済病院 広報委員会

委員長：田野口 孝二

委員：岸本 光司、清野 広人、安藤 美佳子、佐藤 有紀、小林 沙江、金子 幸司、庄子 唯浩、五十嵐 壮太

本誌はUD書体を使用して分かりやすく、読みやすさに配慮しています。

